			(文化・	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	.) 3	平成								
	分類							授	業方	法	場	所	教	員	ıΠ
必修	択必	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講	演習	実習	校内	校外			企業等との連携
0			魚類概論 I	魚類の分類や、各部形態の測定を学ぶ。魚 類の各グループごとの特徴や生態を紹介す る。		32		0			0			0	
0			海洋生物概論	岩礁地形、砂浜地形など、海洋の地形を基準に、どのような生態系が形成されているのかを解説する。		48		0			0		0		
0			フィールドワーク I	イルカウォッチング、魚類採集、臨海実習 等を実施し、野外での観察実習活動を行 う。	1 通	24				0		0	0		
0			就職実務 I	社会人としての健全な人格形成を目指し、 就職に対する意欲を定着させ自己目標の実 現を目指す。	1 通	32		0			0		0		
0			コミュニケーショ ン実践 I	コミュニケーション能力を、講義だけでな くワークショップ等取り入れながら実践を 学ぶ。	1 通	32		0			0		0		0
0			ビジネスマナー I	ー般知識や職務知識、技能やマナー接遇 (言葉遣い、話し方、態度、振る舞い)人 柄の要素について学ぶ。		36		0			0		0		
0			コンピュータ実習 I	基本的な文書作成や表計算、グラフ作成な どを修得する。	1 後	64				0	0			0	
0			プレゼンテーショ ン I	社会人として相手に伝わる表現力を身に付けさせるため、毎回身近なテーマを与え、 パワーポイントを使って発表させる。	1 後	16				0	0			0	
	0		水槽理論 I	魚類や水草を育成、維持管理するための水 槽システムや原理について学ぶ。	1 通	32		0			0			0	0
	0		ネイチャーアクア リウム入門	ネイチャーアクアリウムの定義、用語など、作品制作において必要な基礎となる情報を学ぶ。	1 前	16		0			0		0		
	0			ネイチャーアクアリウムの原理、作成手法、維持管理の技術、器具の構造や利点などを学ぶ。		32		0			0			0	0

			(文化・	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	.) 3	平成	2 5	年度	ŧ					
	分類	į						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実験・実習・実技		校外		兼任	企業等との連携
	0		造形美術	ネイチャーアクアリウムのデザインを左右 する、流木や石の配置方法について、美術 的な観点から学ぶ。	1 前	16				0	0			0	0
	0		ネイチャーアクア リウム実習 I	一人当たり、1つの水槽を使用して、ネイチャーアクアリウムを実際に制作する。	1 通	96				0	0			0	0
	0			熱帯魚をはじめとする観賞魚の分類や魚種を理解し、飼育管理について学び、飼育する。繁殖についても学び、可能性のある魚種については、繁殖に挑戦する。	1 通	128				0	0		0		
	0		熱帯魚の病気	熱帯魚を飼育する際に発生しやすい病気を 理解し、予防法から治療法まで学ぶ。	1 後	16		0			0			0	0
	0		水槽管理実習 I	学校内外に設置している水槽に、不具合が無いか点検し、必要な管理作業を行う。 スプランス (本本)、 大の住員、自成、海水成力な	1 後	48				0	0	0	0		
	0		海洋学	ど、海洋で発生する物理現象について学	1 前	16		0			0		0		
	0		ネイチャーアクア マリン理論	アクアリウムショップで取り扱うマリンア クアリウムについて、飼育のために必要な 基礎知識を学ぶ。	1 前	32		0			0		0		
	0			アクアリウムショップで取り扱うマリンア クアリウムについて、水槽を使用して飼育 を実践する。	1 後	32				0	0		0		
	0		海洋哺乳類トレー ニング理論	海獣類のトレーニングに必要な理論を学 び、陽性強化法を理解する。	1 前	32		0			0		0		
	0		水界生態学 I	河川、湖沼などの陸水環境を中心に、周辺 の生態系を学ぶ。	1 前	16		0			0			0	0
	0		水草概論 I	アクアリウムで取り扱われる水草につい て、分類や種類について学ぶ。	1 通	32		0			0			0	0
	0		ネ イ チ ャ ー ビ オ トープ概論	水鉢に抽水植物を植栽し、観賞用として維 持管理する手法について学ぶ。	1 前	16				0	0			0	0
	0		飼養管理士総論	愛玩動物飼養管理士2級に合格するために、 学習のポイントを解説する。	1 後	86		0			0		0		
	0		海洋哺乳類概論	海洋哺乳類 (鯨類、鰭脚類、海牛類など) の生態について学ぶ。	1 前	16		0			0			0	
	0		海洋保全論	海洋保全、環境保護の違いや、取り組みに ついて紹介する。	1 後	16		0			0			0	
	0		生物統計学 I	データ分析に必要な平均、標準偏差、分散、グラフ作成について、パーソナルコン ピュータを使用して理解する。		16		0			0			0	
	0		水族館概論	社会に対する水族館の役割について学ぶ。 また、全国の特色ある水族館について紹介 する。	1 後	16		0			0			0	

			(文化•	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	.) Σ	平成								
	分類	Į						授	業方	_	場	所	教	員	7
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	授業時	位		演	実習	-	校			企業等との連
11念	11含	<b></b>			期	数	致	義	省	· 実 技	Δ	外	1±	1±	携
	0		海獣類飼育理論	海獣類の飼育に必要な基礎知識について学 習する。	1 通	64		0			0		0		
	0		海洋学	気象、海流、光の性質、音波、海水成分な ど、海洋で発生する物理現象について学 ぶ。	1 前	16		0			0		0		
	0		海洋動物行動学 I	大型海洋動物 (海鳥、爬虫類、海獣類) などの生態について学習する。	1 前	16		0			0		0		
	0		マリンアクアリウ ム理論	アクアリウムショップで取り扱うマリンア クアリウムについて、飼育のために必要な 基礎知識を学ぶ。	1 前	32		0			0		0		
	0		水族飼育理論 I	水族館設備(水槽、取水設備、ろ過槽、温 度調整器具、殺菌施設など)の構造や原 理、運用の注意点について学習する。		32		0			0		0		
	0		水族飼育実習 I	一人1つずつの水槽を使用して、海水魚の飼 育を実践する。	1 通	128				0	0		0		
	0			一人当たり、1つの水槽を使用して、ネイ チャーアクアリウムを実際に制作する。	1 通	64				0				0	0
	0			海獣類のトレーニングに必要な理論を学 び、陽性強化法を理解する。	1 前	32		0			0		0		
	0		潜水士対策	潜水士免許取得試験の合格を目指し、その ために必要な学習を行う。	1 前	80		0			0		0		
	0			海獣類のトレーナーとしての技術を身に付けるため、魚類を使用してトレーニングの 実践を行う。		32				0	0		0		
	0			体力の増強と、水泳技術の向上のため、室 内プールで水泳の練習を行う。	1 通	64				0		0	0		

			(文化 • ፣	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	.) 3	P成	2 5	年度	ŧ					
	分類	Į						授	業方	法	場	所	教	員	
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実習		校外			企業等との連携
	0			怪我や急病などの緊急時、救急隊到着まで の応急処置法を身に付ける。	1 通	42				0		0		0	
0			魚類概論Ⅱ	魚類の体内の構造、魚類の生理について学 ぶ。生態や繁殖と、体内での変化について も解説する。	2 通	32		0			0			0	
0			水生動植物実験	魚類や無脊椎動物などの体構造の観察やスケッチ、血液検査、年齢査定、水生生物飼育のための化学実験、水槽加工制作を行う。		48				0	0			0	
0			卒業研究	各自が設定したテーマに基づき、2年間の 集大成として論文にまとめる。	2 通	64		0			0		0		
0			就職実務Ⅱ	社会人としての健全な人格形成を目指し、 就職に対する意欲を定着させ自己目標の実 現を目指す。	2 前	16		0			0		0		
0			コミュニケーショ ン実践 II	コミュニケーション能力向上をめざし、講 義だけではなく、ワークショップなどを行 う。		32		0			0		0		0
0			ビジネスマナーⅡ	就職活動に向けて自己分析、自己PRの書 き方、面接指導などを実施し早期内定を目 指す。		36		0			0		0		
0			フィールドワーク II	イルカウォッチング、魚類採集、臨海実習 等を実施し、野外での観察実習活動を行 う。	2 通	18				0		0	0		
0				エクセルを使い、簡単な関数、グラフの作 成などを行う。エクセル検定3級を受験。	2 前	64				0	0		0		
0			アクアリウム飼料 学	アクアリウムで使用する餌の種類や製法、 取り扱い方、栄養に関する知識について学 習する。	2 後	16		0			0		0		
0				自分が学んでいる分野の中からテーマを選出しそのテーマについて研究、検証を行い、結果をまとめて考察し、パワーポイントを使って発表する。	2	47		0			0		0		

		(文化 • □	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	.) Σ	P成	2 5	年原	Į					
分類	Į						授:	業方	法	場	所	教	員	7
選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実習		校 外			企業等との連携
0		ネイチャーアクア リウム理論 Ⅱ	ネイチャーアクアリウムの世界的な流れ、 考え方、新しい制作手法など、新しいト ピックについて学ぶ。	2 前	16		0			0			0	0
0		ネイチャーアクア リウム実習 Ⅱ	一人当たり、1つの水槽を使用して、ネイチャーアクアリウムを制作する。また、グループごとに大型水槽で作品制作を行い、コンテストでの入賞を目指す。	2 通	96				0	0			0	0
0		観賞魚飼育・繁殖 実習Ⅱ	飼育の難易度が高い魚種の飼育を実践する。導入時のトリートメント、病気の防除 方法、病気の治療、繁殖までを実践する。	2 通	96				0	0		0		
0			海水魚の病気治療(白点病)、難易度の高い魚種の飼育、無脊椎動物の取り扱い方について実習を行う。	2 前	32				0	0		0		
0		水槽展示概論	レンタルアクアリウム業で顧客宅で水槽を 展示するに当たり、必要な事項について考 え、企画書を作成する。	2 通	32		0			0		0		
0		水槽理論Ⅱ	水槽器具のメンテナンス、劣化防止や性能 維持、リスク管理等について習得する。	2 通	32		0			0			0	0
0		水槽管理実習Ⅱ	学校内外に設置している水槽に、不具合が無いか点検し、必要な管理作業を行う。さらに、下級生に水槽管理上の指導を行う。		96				0	0	0	0		
0		水草概論Ⅱ	アクアリウムで取り扱われる水草について、植物の体構造や生長、繁殖の仕方について学ぶ。		32		0			0			0	0
0		自然造園デザイン 概論	ビオトープの役割、仕組み、生態系が形成 されるまでの段階、利活用方法などを紹介 する。		32		0			0		0		0
0		環境・生態保護論	湖沼や河川の環境に関する問題事例、保護 や保全について紹介する。	2 後	32		0			0			0	0
0		マーケティング	アクアリウムショップを起業することを テーマに、事業計画を策定して発表する。	2 通	48		0			0		0		

		(文化・	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	.) ፯	F成	2 5	年度	Į					
分類	Į						授:	業方	法	場	所	教	員	
選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実習		校外			企業等との連携
0		生物統計学Ⅱ	実データの数値を用いて、パーソナルコン ピュータで統計的な分析を行う。	2 前	16				0	0			0	
0		水族飼育実習Ⅱ	1人一水槽を用いて、飼育難易度の高い海水 魚(病気に罹りやすい魚種)や、無脊椎動 物の飼育を行う。	2 通	96				0	0		0		
0		海獣類飼育理論Ⅱ	海獣類の輸送、病気治療、保存など、水族 館で実際に行われている管理について学 ぶ。	2 後	16		0			0		0		
0		水族飼育理論Ⅱ	海水魚が罹患する疾病について学び、投薬 処理などの治療方法について習得する。	2 前	32		0			0		0		
0		海洋生物概論Ⅱ	分類学、学名、和名、英名などの使用方法、無脊椎動物の分類や生態、代表種など について学ぶ。	2 通	48		0			0		0		
0		海洋動物行動学Ⅱ	海洋動物における分類・名前の由来・形態・生息域・繁殖・摂餌等を理解する。水族館で飼育されている海洋動物の野生の行動レパートリーを確認する。	2	16		0			0		0		
0		淡水水族各論	日本産淡水魚をはじめ、水族館で飼育展示される代表的な淡水魚類について学ぶ。分類から種類ごとの生態について紹介する。		16		0			0		0		
0		トレーナートレー ニングI	伊歌親のトレーナーとしての技術を身に付けるため、魚類を使用してトレーニングの 実践を行う。また、下級生へのトレーニン が指導や、報告書の記入について指導す	2 通	96				0	0		0		
0		捕鯨問題	捕鯨を取り巻く社会的な動きや、各立場の 主張、問題となっていることについて、中 立な立場から解説する。	''	16		0			0			0	
0			動物園誕生の背景を知る。飼育技法として の環境エンリッチメントと展示技法として のランドスケープ・イマージョンの違いを 知る。		16		0			0		0		
0			体力の増強と、水泳技術の向上のため、室 内プールで水泳の練習を行う。	2 前	64				0		0	0		

			(文化・	教養専門課程ネイチャーアクアリウム海洋生物	物学科	ļ) <u>s</u>	平成	2 5	年月	ŧ					
- :	分類							授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単		演習	実習	校内	校外			企業等との連携
	0		海洋法・漁業法	海洋で活動するに当たり、知っておくべき 法律やルール、注意点などを習得する。	2 後	16		0			0			0	
	0		ウォッチング概論	ホエールウォッチング、イルカウォッチング、各種海洋生物の観察ツアーでガイドを 目指すに当たり、必要な情報を提供する。		16		0			0			0	
	0		英語英会話	英語を使ったコミュニケーションを通し、 英語を学ぶための素地を作る。	2 後	64		0			0		0		
			合計	45 科目				1,	, 847	単位	時	間(		単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
1. 本校所定の教育課程を履修し、その科目を修得していること	1 学年の学期区分	2期
2. 卒業までの出席率が90%以上の出席率であること 3. 少なくとも2個以上の資格取得がされていること 4. 科目試験C評価以上であること	1 学期の授業期間	16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

			平成 2	5年(文化・教養専門課程 アニマルセラピー・コーディネー	-ター	·学科	1)								
$\vdash$	分類				配	授		授	<u>業方</u>	法実	場	肵	教	負	企
					当	12	単			験					業
必	選 択	自		10.00 - 10.00	年	業		講	演	-	校	校	専	兼	業等
	択	曲	授業科目名	授業科目概要	次	吐	位			実					との
修	必修	选択			· 学	時	数	義	習	習•	内	外	任	任	
ייו	שיו	J/ \			期	数	~	72		実	,	/ 1	'-	_	携
									Ш	技				<u> </u>	
0			AAA概論 I	動物介在活動と動物介在療法の基本を学ぶ。	〕 通	24		0			0			0	
0			AAA実習	動物介在活動と動物介在療法の基礎知識と実践の基礎を学ぶ。	1 前	19				0	0	0		0	
0			AAA総論	動物介在活動現場で必要なハンドリング技術を学ぶ。動物介在活動について知る。	1 前	32				0	0			0	
0			NIE	新聞記事を各自でスクラップし、その内容についてプレゼンする。	1	32		0			0		0		
0			エキゾチックアニマルI	エキゾチック動物について理解し、動物関連業界でエキゾ	1	8		0			0			0	
			1 1 . 1 . 1 . L^=+->_L	チック動物に対応する時に必要な知識を身につける。	前	°		)	Ш		$\square$			$\square$	
0			カウンセリング話法	カウンセリングの技術を通して、人との接し方、話し方の 技術を習得する。	1 後	16		0			0		0		
0			グルーミング実習 I	2人1組で1頭をシャンプーセットができるようになる。	1 前	48				0	0		0	0	0
0			グルーミング実習 Ⅱ	2人1組で1頭をシャンプーセットができるようになる。	1 後	24				0	0		0	0	0
0			グルーミング理論	<ul><li>グルーミングの流れを知る</li><li>犬種のスタンダードカットを理解する</li></ul>	1 前	16		0			0		0	0	
0			コミュニケーション実践I	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ	1	32		0			0		0		
0			コンピュータ実習 I	等取り入れながら実践を学ぶ。 Word文書処理技能認定試験3級取得を目指す。	1	48			H	0	0		0	0	
0	-		しつけトレーニング実習	  ご褒美で誘導する誘導法を用いた犬のトレーニング技術の	<u>後</u>	48			H	0	0		H		0
			スモールペット飼育学	習得を目指す。  スモールペットについてからだのしくみ、病気など基本的	<u>通</u>	-				Ĕ				$\dashv$	$\overset{\smile}{\dashv}$
0			ドッグケア実習 I	な知識を習得する。	後	16		0			0		0		
0			ドックケナ 美自 I ビジネスマナー I	・犬に装着する道具について理解し使用できるようにな	) 後	40				0	0	0	0		
0				社会で通用するビジネスマナーを修得する。	1 通	32		0					0		
0			ワーキングドッグ論	社会的に認知度が低い、ワーキングドッグに焦点をあて、仕事内容、トレーニング方法、社会的現状を理解するとと	1	16		0			0			0	í
				もに、普及するための方法を考える。	後			)	Ш		Ŭ			igstyle	
0			医学一般 I	動物医療の基礎について学ぶ   ひ	1 後	16		0			0		0		
0			栄養学	解し、ペットフードでの栄養管理ができる知識を習得す	1 前	32		0			0		0	0	
0			解剖学	動物の基礎的解剖学の理解を目的とする。	1 前	32		0			0			0	
			寄生虫学	動物や人に感染する恐れのある寄生虫について、感染経路	-1										i
0				と病害を中心にまとめていく。また、動物病院での勤務では、各種検査によって寄生虫卵の鑑別を行うこともあるた	1 後	16		0			0		0		
			検査実習	め、簡単な虫卵鑑別ができるように知識をつける。 動物病院で一般的に行われている臨床検査の技術の習得を	1	-			H						
0				目指します。	後	32			Ш	0	0		0		
0			公衆衛生学	各種微生物の基礎知識の習得及び消毒、滅菌について理解 し、感染症についての知識を身に付ける。	1 前	32		0			0			0	
0			飼養管理士総論	社団法人愛玩動物協会主催の愛玩動物飼養管理士2級の合格 を目指す。	1 後	38			0						1
0			社会福祉概論	動物と人間を福祉の観点で考え実践の場面で対応できる力を身につける。	1 後	16		0			0			0	
0			就職実務I	施設にて実際の運営に関わらせていただき実践力を身につ	1 通	32		0			0		0		0
0			心理学	人が行動を起こすための仕組みを知る。	1 前	16		0			0		0		
0			人と動物の関係学	国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか。日本の現 状と照らし合わせながら今後の課題を探る。	1	48		0			0			0	
0			生理学	動物の体の構造や機能に関する知識の習得を目指す。	1 後	32		0			0			0	
					汉				ш		ш				

			平成25	5年(文化・教養専門課程 アニマルセラピー・コーディネー	ター	学科	)	_	.II. I				- 10		
	分類	Į			配	授		授	業方		場	所	教	員	企
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	2 業 時 数	位		演習	実 習 •	校内				との
					771	~				実 技					123
0			動物の世話と管理 I	飼育室における動物管理をチームで行う。	1 通	48				0	0			0	
0			動物看護実習Ⅰ	動物病院で必要とされる技術の習得を目指す。	1 後	24				0	0			0	
0			動物関係法規	愛玩動物飼養管理士2級合格を目標とする。	1 後	16		0			0		0		
0			AAA概論 II	ペットパートナーズのアニマル・ハンドラースキルズコー スを学ぶ。	2 通	44		0			0			0	
0			AAA実習 Ⅱ	動物介在活動の実践とスキルの習得	2 前	56				0		0		0	
0			AAA実践 I	動物介在活動を通じての施設の評価、訪問の記録などについて学ぶ。	2 通	64				0	0			0	
0			アクアリウム	ネイチャーアクアリウムについての基礎的な知識と技術を 修得する。	2 通	32				0	0		0		
0			コミュニケーション実践 Ⅱ	コミュニケーション能力を講義だけではなくワークショッ プも取り入れながら実践を学ぶ。	2 通	32		0			0		0		
0			コンピュータ実習 Ⅱ	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身に付ける。	2 前	44				0	0			0	
0			スポーツ	就職で必要な体力を作るため、柔軟、ストレッチ、ウォー キング、筋トレなどを行う。	2 後	16				0		0	0		
0			ドッグトレーニング実習 I	動物介在活動で必要なトレーニング技術の習得	2 通	32				0	0			0	
0			ビジネスマナー Ⅱ	ビジネスマナー検定3級合格を目標とする。	2 前	16		0			0		0		
0			ホームヘルパー養成講座	ホームヘルパー2級取得を目指す。	2 通	132		0		Δ		0		0	
0			医学一般 Ⅱ	1年次で学んだ医学用語や知識などを元に実際の現場必要 とされる対応力を学ぶ。	2 前	32		0			0		0		
0			一般常識	就職に向けて必要とされる一般常識育成のためSPIの問題集や新聞の記事など使い授業を進める。		16		0			0			0	
0			英語·英会話 I	世界の共通語になりつつある英語を学ぶことにより、海外 の情報をより早く入手する。また、海外の文化・特色など を基礎知識として学ぶ。	2 後	32		0			0		0		
0			看護実践	専門職として、動物看護を実践する上で必要な基礎知識を 実習を取り入れながら学ぶ。	2 後	32		0			0		0		
0			健康科学	毎日健康でいられるように、睡眠、休息、栄養について学ぶ。		32		0			0		0		
0			就職実務Ⅱ	個々の考える力を養い、探究心を強く持った人材の育成を 目指す共に、インターンシップの経験から過去の問題事例 の分析行い、現在の就職活動に活かしていく。	2 後	16		0			0		0		
0			動物の世話と管理Ⅱ	飼育室の動物管理を適切な管理で行えるようになることを 目的とする。	2 通	128				0	0			0	
0			動物の病気	動物の病気を知ることにより、解剖学、症状、治療法、動物の状態、動物のケアを理解する。	2 通	64		0			0		0	0	
0			動物看護実習Ⅱ	動物看護実習Ⅱでは、1年次の復習に加え、病院での補助 的看護作業を想定し、より実践的に実習して即戦力の人材 育成を目標とする。	2 通	48				0	0		0		
0			AAA概論Ⅲ	ペットパートナーズの訪問活動適性審査コースを学ぶ。	3 通	72		0			0			0	
0			AAA実習Ⅲ	動物介在活動の実践と必要なスキルの習得。コーディネー ターとしての知識、対応力の習得を目的とする。	3 通	84				0		0		0	
0			AAA実践Ⅱ	動物介在活動を通じての施設の評価、訪問の記録などについてさらに詳しく学ぶ。	3 前	8				0	0			0	
0			AAA特論	入と動物の計の生态で動物が生活期、動物が生態は、動物 介在教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与す	3 前	32		0			0			0	
0			エキゾチックアニマル Ⅱ	エキゾチックアニマルの看護に関する知識の習得を目指す。ウサギ、モルモット、ハムスターなど犬、猫以外のペットの適切な管理と看護について学習する。	3	32		0			0			0	

			平成2!	5 年(文化・教養専門課程 アニマルセラピー・コーディネー	-ター	学科	1)								
1	分類							授	業方		場	所	教	員	
必修	必	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実習		校外		兼任	との
0			経理実務	実務で必要な計算、帳票、保険手続きなどの知識を学ぶ。	3 通	32		0			0		0		
0			コミュニケーション実践Ⅲ	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ 等取り入れながら実践を学ぶ。	3 通	32		0			0		0		
0			産業動物学	産業動物の社会的役割と目的及び野生動物と環境保全を理解し、動物福祉の観点から人と動物の共生に寄与する。	3 後	16		0			0			0	
0			卒業研究	自ら選んだテーマについて所定のルールにのっとって論文と してまとめる。	3後	32		0			0		0		
0			動物行動学	犬と猫が人間社会に入ってきた歴史的背景、動物の習性や 専門的な学習理論を理解できるようになる。	3 前	16		0			0		0		
0			動物看護特論	動物看護師統一認定試験合格を目標に不足している知識の 充足と反復練習を行う。	3 诵	64		0			0		0	0	
0			ドッグケア実習 Ⅱ	トレーニング実習の振り返りとハンドリング技術の習得。 道具に関してトレーニング補助具である「ジェントルリー ダー」や「イージーウォークハーネス」などの使用ができ	3 後	32				0	0		0		
0			ドッグトレーニング実習 Ⅱ	<del>  室碇を振り返りなから応用のドレーニングを身にづける。</del>  また動物介在活動で必要なトレーニング技術の習得も目指	3 通	32				0	0			0	
0			ドッグトレーニング実習Ⅲ	基本的なトレーニング方法から応用させて、犬が社会参加 して行く上で必要なGCT(グッド・シチズン・テスト)の模擬 試験受験に向けたトレーニング技術を習得する。	3 通	64				0	0			0	
0			繁殖学	主に犬猫の繁殖整理を理解し、性行動、妊娠、分娩及び避妊、去勢の知識を身に付ける。	3 後	16		0			0		0		
0			薬理基礎学	な楽剤の特性を埋解し、楽剤を止しく取り扱えることを日   セナ	3 通	32		0			0			0	
0			英語·英会話Ⅱ	世界の共通語になりつつある英語を学ぶことにより、海外 の情報をより早く入手する。また、海外の文化・特色など を基礎知識として学ぶ。	3 後	32		0			0		0		
0			検査実習 Ⅱ	動物病院で一般的に行われている臨床検査の技術の習得を 目指します。血液検査や検便、尿検査、膣スメア検査、X 線検査、内視鏡検査、超音波検査、心電図検査といった動 物病院で行われている検査についても実習していきます。	3 通	32				0	0		0		
0			就職実務Ⅲ	就職に向けて企業検索、業界研究を進め早期に内定できる スキルを身に付ける。	3 前	16		0			0			0	
0			動物の世話と管理Ⅲ	正常時の適切な管理(飲食、排泄、清掃)が1匹に対し1人 10分以内で完了できるようになる。	3 通	158				0	0			0	
0			動物看護実習Ⅲ	動物の看護全般を理解する。	3 通	48				0	0		0		
			合計	71科目				2	, 631	単位	時	間(		単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
1. 本校所定の教育課程を履修し、その科目を修得していること	1 学年の学期区分	2期
2. 卒業までの出席率が90%以上の出席率であること  3. 少なくとも2個以上の資格取得がされていること		
4. 科目試験C評価以上であること		
	1 学期の授業期間	16週

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

<sup>2</sup> 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

				平成26年(文化・教養専門課程 ドッグトレーニング学科	)									
Hi	分類				配	授	授	業業力	法実	場	所	教.	員	企
					当		単		験					業
必	選	自由	<b>恒娄利日夕</b>	拉维利 口榧苗	年	業		演		校	校	専	兼	等
	択必	選	授業科目名	授業科目概要 	次 •	時	位		実習					との
修	修	択			学		数	習		内	外	任	任	連
					期	数			実技					携
0			AAA実習	動物介在活動と動物介在療法の基礎知識と実践の基礎を学ぶ。	1	36				0	0		0	
0			AAA総論	<u></u> 動物介在活動現場で必要なハンドリング技術を学ぶ。動物介在	<u>前</u> 1	16			0	0			0	
0			一般教養	活動について知る。 就職に向けて必要とされる知識を学ぶ	<u>前</u> 1	32	С	)		0			0	
			エキゾチックアニマル I	エキゾチック動物について理解し、動物関連業界でエキゾチッ	<u>通</u> 1		+			_				
0				ク動物に対応する時に必要な知識を身につける。	· 前	32	С	)		0			0	
0			看護実践 I	動物看護業務に必要な技術を身につける。	1 後	32			0	0			0	
0			寄生虫学	動物に寄生する寄生虫について知識をつける。	1 後	14	С			0		0		
0			グルーミング実習	2人1組で1頭をシャンプーセットができるようになる。	1 前	80			0	0		0	0	
0			グルーミング理論	・グルーミングの流れを知る ・犬種のスタンダードカットを理解する	1 前	16	С	)		0		0	0	
0			コミュニケーション実践Ⅰ	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ等取 り入れながら実践を学ぶ。	1 通	31	С	)		0		0		
0			コンピュータ実習 I	Word文書処理技能認定試験3級取得を目指す。	1 後	32			0	0		0	0	
0			しつけトレーニング実習	ご褒美で誘導する誘導法を用いた犬のトレーニング技術の習得  を目指す。	<u>皮</u> 1 通	48			0	0		0	0	0
0			心理学	人が行動を起こすための仕組みを知る。	1 後	16	С	)		0		0		
0			動物の世話と管理	飼育室における動物管理をチームで行う。	1 通	74			0	0			0	
0			動物栄養学	動物の栄養管理に関する基礎知識の習得を目指す。	1 前	32	С	)		0		0		
0			ドッグケア実習I	犬の状態を客観的に観察できるようになる。 犬に装着する道具について理解し使用できるようになる。	1 後	32			0	0	0	0		
0			ドッグマネジメントI	犬の管理に関して必要な事、モノを理解する。グループ管理の 特性を理解する。	1 後	16	С	)		0		0		
0			ビジネスマナー I	社会で通用するビジネスマナーを修得する。	1 通	32	С	)						
0			ワーキングドッグ論 I	社会的に認知度が低い、ワーキングドッグに焦点をあて、仕事 内容、トレーニング方法、社会的現状を理解するとともに、普 及するための方法を考える。	1 後	16	С	)		0			0	
0			解剖学	動物の基礎的解剖学の理解を目的とする。	1 前	32	С	)		0			0	
0			犬の世話と管理 I	飼育室における動物管理をチームで行う。	1	32			0	0	0	0		
0			公衆衛生学	各種微生物の基礎知識の習得及び消毒、滅菌について理解し、 感染症についての知識を身に付ける。	1 前	32	С	)		0			0	
0			飼養管理士総論	社団法人愛玩動物協会主催の愛玩動物飼養管理士2級の合格を目 指す。	1 後	42	С	)		0		0		
0			就職実務I	コミュニケーション能力を演習を通じ学ぶとともに、外部施設 にて実際の運営に関わらせていただき実践力を身につける。	 1 通	32	С	)		0		0		0
0			人と動物の関係学	国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか。日本の現状と照らし合わせながら今後の課題を探る。	 1 通	46	С	)		0			0	
0			生理学	動物の体の構造や機能に関する知識の習得を目指す。	 1 後	32	С	)		0			0	
0			動物関係法規	愛玩動物飼養管理士2級合格を目標とする。		24	С	,		0		0	$\exists$	
0			犬の世話と管理Ⅱ	動物の取扱いや日常的な管理を行うための基礎知識の習熟を目 指す。		192			0	0	0	0		
0			エキゾチックアニマル Ⅱ	117。 エキゾチックアニマルの看護に関する知識の習得を目指す。ウサギ、モルモット、ハムスターなど犬、猫以外のペットの適切な管理と看護について学習する。	2 前	64	С	)		0			0	
0			カウンセリング話法	傾聴を中心にカウンセリングの基本を学ぶ。	2 後	16			0	0		0		

				平成26年(文化・教養専門課程 ドッグトレーニング学科	)										
:	分類					122	-	授	業方		場	所	教	員	
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義		実習		校 外			企業等との連携
0			看護実践	動物病院で看護師として必要とされる知識、技術の習得を目指す。動物病院以外でも役立つ受付や電話の応対も学修する。	2 後	64		0			0			0	
0			コミュニケーション実践 Ⅱ	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ等取 り入れながら実践を学ぶ。	2 通	16		0			0		0		
0			コンピュータ実習 Ⅱ	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身に付ける。	2 後	32				0	0			0	
0				インストラクターとしての飼い主への指導法に関する知識と技術の習得を目標とする。	2 通	142				0	0		0	0	0
0			動物行動学	動物(特に犬・猫)の歴史背景や行動とに	2 後	16		0			0		0		
0			動物の病気	動物の病気を知ることにより、解剖学、症状、治療法、動物の状態、動物のケアを理解する。	2 前	32		0			0		0		
0			ドッグケア実習 Ⅱ	トレーニング実習の振り返りとハンドリング技術の習得。道具に関してトレーニング補助具である「ジェントルリーダー」や 「イージーウォークハーネス」などの使用ができるようにな	2 後	32				0	0		0	0	
0			ドッグスポーツ実習	様々なドッグスポーツの種類やそのトレーニングの方法を学 ぶ。	2 前	48				0		0	0	0	
0			ドッグトレーニング実習 I	動物介在活動で必要なトレーニング技術の習得	2 通	96				0	0		0	0	
0			ドッグトレーニング実習 II 	基本的なトレーニング方法から応用させて、犬が社会参加して 行く上で必要なGCT(グッド・シチズン・テスト)の模擬試験受験 に向けたトレーニング技術を習得する。	2 通	32				0	0		0	0	0
0			ドッグマネジメントⅡ	I を元にグループでの犬管理を応用する。 管理を第三者にアドバイスできるようになる。	2 通	32		0			0		0		
0			ドッグレクリエーション	ドッグダンスの楽しみ方やトレーニングの方法で学び犬と飼い主のコミュニケーションの幅を広げる手法を学ぶ。	2 後	32		0			0		0		
0			繁殖学	主に犬猫の繁殖整理を理解し、性行動、妊娠、分娩及び避妊、 去勢の知識を身に付ける。	2 後	16		0			0		0		
0			ビジネスマナー II	ビジネスマナー検定3級合格を目標とする。	2 前	16		0			0		0		
0			ワーキングドッグ論 Ⅱ	何かの目的のために育成される作業犬(ワーキングドッグ)に 関する知識の習得を目指す。	2 後	16				0	0			0	
0			就職実務Ⅱ	個々の考える力を養い、探究心を強く持った人材の育成を目指 す共に、インターンシップの経験から過去の問題事例の分析行 い、現在の就職活動に活かしていく。	2 前	32		0			0		0		
			合計	45 科目					1,	785 <u>ì</u>	单位	時間	](		単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間	間等
1. 本校所定の教育課程を履修し、その科目を修得していること	1 学年の学期区分	2期
<ul><li>2. 卒業までの出席率が90%以上の出席率であること</li><li>3. 少なくとも2個以上の資格取得がされていること</li><li>4. 科目試験C評価以上であること</li></ul>	1 学期の授業期間	16週

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

<sup>2</sup> 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

	kT		平成26年(文化・教養専門課程 動物看護師学科)			_	740			18 50	14/			
必 選 が 必 修	ままれる 単元 選	由 授業科目名 選	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数			実験・実習	技 材 外	,專		企業等との連携	
0	-	院内コミュニケーションIA	コミュニケーション能力を演習を通じ学ぶとともに、外部施設にて実際の	1 通	数33		0		) (	) )	0		坊	
0		院内コミュニケーション I B	運営に関わらせていただき実践力を身につける。	1	33	Н	0	$\vdash$	- (	)	0	H	H	
0		院内コミュニケーション I C	Word文書処理技能認定試験3級取得を目指す。	<u>通</u>	33		H	$\vdash$	0 0		0		H	
0		トータルコミュニケーション	学内行事に係る準備や学校内、クラス内コミュニケーション向上をはか	<u>後</u>	18		0	$\vdash$		)	0	1	H	
0		外科動物看護実習 I	る。 基本的な外科手術の流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助 手及び周術期の動物管理を身につける。また、手順や要領を考慮した行動	<u>通</u> 1 後	49				0 0	+	0			
0		公衆衛生学	から問題解決能力や看護実践能力を身につける。 各種微生物の基礎知識の習得及び消毒、滅菌について理解し、感染症につ	2	31	H	0		-	)	0			
0		就職実務I	いての知識を身に付ける。 コミュニケーション能力を演習を通じ学ぶとともに、外部施設にて実際の	<u>前</u> 1	45	H	0	H	(	)	0	<del> </del>	0	
0		飼養管理学I	運営に関わらせていただき実践力を身につける。 エキゾチック動物について理解し、動物関連業界でエキゾチック動物に対	<u>通</u> 1	45	H	0	H	-	)		0		
0		総合臨床実習	応する時に必要な知識を身につける。 外部施設にてインターンシップを行う。	<u>前</u> 1	117	H	П	H	0	C	)	0		
0		動物医療関連法規	動物看護師のあり方、業務、動物愛護の精神、倫理観を中心に習得させ	<u>通</u>	57	H	0	$\vdash$	- (	)	0			
0		動物看護実習IA	る。又、特にペットとの関係に注目し、様々な事例とともに法律を学ぶ。 動物看護実習 I では、基本的な器具・用具の説明から消毒・滅菌、診察や 手術の補助的作業を実習します。簡単な臨床検査の実習も行い、動物病院 へ実習に行ったときに内容が把握できることを目標とする。	後 1 後	49				0 0	+	0			
0		動物看護実習IB	動物のグルーミングの技術を学ぶ。	1 前	73		П		0 0	)	0	0	0	沿習
0		動物感染症学	主に犬猫に感染する内部寄生虫、外部寄生虫及び微生物について理解し、 予防と看護に活かす	1 通	64		0		(	)		0		
0		動物形態機能学	細胞の構造(染色体)、細胞組織、遺伝様式、体液と尿、生体恒常性	1 通	95		0		(	)		0	П	
0		動物健康管理学	<ul><li>・グルーミングの流れを知る</li><li>・犬種のスタンダードカットを理解する</li></ul>	1前	16		0		(	)		0	П	
0		動物飼育実習IA	飼育室における動物管理をチームで行う。	1 通	93	П	П		0 (	)	0	0		H2
0		動物飼育実習IB	動物介在活動で必要なトレーニング技術の習得	1 通	33	П	П		0 0	)		0		H2
0		動物疾病看護学	バイタルサイン、病的変化	1 後	38	П	0		(	)	0			
0		動物人間関係学	HAB、AAA、AAT、AAEなどの概論	1 前	46	П	0		(	)		0		
0		動物病理学	発病のメカニズム、変性、化生、委縮、肥大、過形成、浮腫、炎症、腫瘍	<u>別</u> 1 後	33	H	0		-	)	0			
0		動物福祉論	生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を身につ	<u>夜</u> 1 通	51	H	0		(	)		0		
0		動物臨床検査実習 I	ける。 基礎で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な検体検査及び生体検査 に関する意義を理解し基本的手技を身につける。また手順や要領を考慮し た行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。	<u></u> 1 通	95				0 0	)	0			
0		病原体•衛生管理	病原体になりうる微生物の感染予防法を理解し、動物の健康維持に努め る。	1 前	31		0		(	0		0		
0		動物栄養学	あらゆる動物が生きていくために、必要な食物と栄養について理解を深める。	1 前	31		0		(	)		0		
0		動物健康管理(世話と管理)	適正飼育、食べてはいけないもの、事故防止	1 前	16		П		0 0	)		0		
0		動物行動学	犬・猫を基本とした動物の生態学的、行動学的基礎知識を学習することにより、トレーニングや訪問活動を含む全ての活動において動物との正しい 係わり合い方を理解する。	1 通	33				0 0	)	0	0		
0		動物臨床検査学	検体を用いる検査と生体検査の目的と意義を理解し手技に活かす。	1 通	33				0	)	0			
0		院内コミュニケーション II A	コミュニケーション能力を演習を通じ学ぶとともに、外部施設にて実際の運営 に関わらせていただき実践力を身につける。	2 通	16		0		(	)	0			
0		院内コミュニケーションIIB	社会で通用するビジネスマナーを修得する。	2 前	16		0		(	)	0			
		院内コミュニケーションIIC	Excel表計算認定試験3級取得を目指す。	2 前	31				0	0	0			
		院内コミュニケーション II D	病院内での接遇、マナーなど実践を通じ学ぶ。	2 前	16		0		(	)	0			
		看護特論	統一認定試験を目標に不足している知識の充足と反復練習を行う。	2 通	107		0		(	)	0			
		救急救命対応	トリアージ、生命徴候、救命法 (CPR)	1 後	16		П		0 0	)	0			
		トータルコミュニケーション	学校行事に係る準備や学校内、クラス内コミュニケーション力向上をはか る。	1 通	20		0	Π	(	)	0	П		
		クライアントエデュケーション	疾病予防、避妊去勢、健康管理、衛生管理指導	1 前	34		0	Π	(	)	0	П		
		外科動物看護実習Ⅱ	手術関連業務、術前述語の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリング	2 前	46		П	$\sqcap$	0 (	)	0	П		
	l	就職実務Ⅱ	個々の考える力と養い、抹丸心と無く持つた人物の自成を日相り共に、インターンシップの経験から過去の問題事例の分析行い、現在の就職活動に	2 前	16		0	$\sqcap$	(	)	0			
H		飼養管理学Ⅱ	実験動物、産業動物、野生動物、展示動物	2	31		0	$\sqcap$	(	)	0	Ħ		
H		総合臨床実習	動物病院実習	2	49		П	П	0	С	)	0	П	
H		動物繁殖学	生命を科学的に追求し、生命の不思議に触れることを目的とする。	2	21	H	0	口	1,	5	0	$\vdash$	П	

125「グルーミング実 習」より名称変更

H25「動物飼育実習I」 より名称分離新設 H25「動物飼育実習I」 より名称変更

				平成26年(文化・教養専門課程 動物看護師学科)											
-	分類				配	授		授	業方	法	場	所	教		<u>^</u>
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	セ 業 時 数	位	講義		支実			専任	兼任	企業等との連携
			動物医療関連法規	動物看護師のあり方、業務、動物愛護の精神、倫理観を中心に習得させる。又、特にペットとの関係に注目し、様々な事例とともに法律を学ぶ。	2 後	9		0			0		0		
			動物栄養学	あらゆる動物が生きていくために、必要な食物と栄養について理解を深める。	2 通	47		0			0		0		
			動物看護学	チーム医療に基づいた専門職としての看護倫理、業務指針から、動物及び 飼主に寄り添った動物看護実践能力と問題解決能力を身につける。	2 通	16		0			0		0		
			動物看護実習 Ⅱ	動物看護実習Ⅱでは、1年次の復習に加え、病院での補助的看護作業を想 定し、より実践的に実習して即戦力の人材育成を目標とする。	2 通	131				0	0		0		
0			動物形態機能学(特論)	細胞の構造(染色体)、細胞組織、遺伝様式、体液と尿、生体恒常性	2 通	62		0			0		0		
0			動物飼育実習Ⅱ	動物飼育に関する技術の実践と応用	2 通	102				0	0		0		
0			動物疾病看護学	バイタルサイン、病的変化	2 通	122		0			0		0		
0			動物入院管理	ケア、看護計画、看護記録、治療、処置別による看護	2 前	31		0			0		0		
0			動物薬理学	作用機序、薬物耐性、薬物アレルギー、有害作用、中毒、プラセボ効果	2 通	32		0			0			0	
0			動物臨床検査実習Ⅱ	検査技術の実践と応用	2 通	145				0	0		0		
0			ドッグケア実習 Ⅱ	トレーニング実習の振り返りとハンドリング技術の習得。道具に関してトレーニング補助具である「ジェントルリーダー」や「イージーウォークハーネス」などの使用ができるようになる。	2 通	62				0	0		0	0	
0			幼齢動物・老齢動物管理	加齢よる身体的特徴、認知障害、褥瘡予防、徘徊改善、夜鳴き改善	2 後	31		0			0		0		
0				経過・症状に応じた看護	2 通	92		0			0		0		
			合計	53 科目				2,	592	単位	時間	引(		単	立)

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
本校所定の教育課程を履修し、その科目を修得していること	1 学年の学期区分	2期
卒業までの出席率が90%以上の出席率であること		
少なくとも2個以上の資格取得がされていること		
科目試験C評価以上であること		
	1 学期の授業期間	16週

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

<sup>2</sup> 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

O     期初的育美音 I A     期育室における期初官埋をナームで行う。     通 93     O O O O O O O O B		/\ ±z		T	平成26年度 (文化・教養専門課程ペット栄養・総合看護師学科)			1	140	414 <b>-</b> L		18:	-r I	+/_	_	$\Box$
□	必	選択必	自由選	授業科目名	授業科目概要	当年次・学	業時	単位	講	演	実験・実習・	校	校	専	兼任	業等との連
	0			院内コミュニケーション I A			33		0			0		0		
	0			院内コミュニケーション I B		1	33		0			0		0		
トータルコミュニケーション	0			院内コミュニケーション I C	Word文書処理技能認定試験3級取得を目指す。	1	33				0	0		0		
□ 外科総物帯複異習 I 基本的な外科学的の変形を発現し、手術者能、語称モニタリング、手能の   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	0			トータルコミュニケーション		1	18		0			0		0		
○ 公衆衛生学	0			外科動物看護実習 I	手及び周術期の動物管理を身につける。また、手順や要領を考慮した行動	1	49				0	0		0		
□	0			公衆衛生学	各種微生物の基礎知識の習得及び消毒、滅菌について理解し、感染症に		31		0			0		0	7	
□	0			就職実務Ⅰ	コミュニケーション能力を演習を通じ学ぶとともに、外部施設にて実際の	1	45		0			0		0		0
対象性に実著	0			飼養管理学I	エキゾチック動物について理解し、動物関連業界でエキゾチック動物に対	1	45		0			0			0	
□ 財物医機関連法規	0			総合臨床実習		1	117				0	_	0		0	
○ 動物者提案官 I A         動物者提案官 I Cat 基本的な認用の目標的の指表を認定。200 (1) (1) (4) (4) (1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	0			動物医療関連法規		1	57		0			0		0		
□ 動物を選集管 I B 動物のグルーミングの技術を学ぶ。	0			動物看護実習IA	動物看護実習 I では、基本的な器具・用具の説明から消毒・滅菌、診察や手術の補助的作業を実習します。簡単な臨床検査の実習も行い、動物病院へ実習に	1	49				0	0		0		
動物形態機能学   一部の	0			動物看護実習IB			73				0	0		0	0	
動物態療能学   160	0			動物感染症学			64		0			0			0	
○ 動物館業管理学         ・グルーミングの退れを知る         1         1         1         0         ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0			動物形態機能学	細胞の構造(染色体)、細胞組織、遺伝様式、体液と尿、生体恒常性	1	95		0			0			0	
○         動物飼育実習 I A         飼育室における動物管理をチームで行う。         1         33         ○         <	0			動物健康管理学		1	16		0			0			0	
○         動物飼育実習 I B         動物介在活動で必要なトレーニング技術の習得         1 a 33         ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0			動物飼育実習IA		1	93				0	0		0	0	H2 I
○         動物疾病看護学         バイタルサイン、病的変化         1         4         38         ○	0			動物飼育実習IB	動物介在活動で必要なトレーニング技術の習得	1	33				0	0			0	O H2
○         動物人間関係学         HAB, AAA, AAT, AAEなどの概論         前         46         ○	0			動物疾病看護学	バイタルサイン、病的変化	1	38		0			0		0		
○         動物病理学         発病のメカニズム、変性、化生、姿緒、肥大、温形成、浮腰、炎症、腫瘍         1         33         ○         ○         ○         ○         動物福祉論         生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理空の理念を身につまた。         1         1         51         ○ <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>HAB、AAA、AAT、AAEなどの概論</td> <td>1</td> <td>46</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td>	0				HAB、AAA、AAT、AAEなどの概論	1	46		0			0			0	
○         動物福祉論         生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を身に 1 3 51 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0				発病のメカニズム、変性、化生、委縮、肥大、過形成、浮腫、炎症、腫瘍	1	33		0			0		0		
	0					1	51		0			0			0	
○ 動物栄養学       あらめる動物が生きていくために、必要な食物と栄養について理解を深め 1 前 31 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ 動物健康管理(世話と管理)       加工網序、表へてはいけないもの、事故防止	0				基礎で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な検体検査及び生体検査 に関する意義を理解し基本的手技を身につける。また手順や要領を考慮し た行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。	1 通	95				0	0		0		
動物栄養学   る。	0			病原体·衛生管理	<b>3</b> .	前	31		0			0			0	
動物性康音理(国語と管理)	0			動物栄養学			31		0			0			0	
あり行動学	0			動物健康管理(世話と管理)		1 前	16				0	0			0	
○ 動物臨床検査学       様体を用いる検査と生体検査の目的と思義を理解し手技に活かす。       通 33       0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0			動物行動学	より、トレーニングや訪問活動を含む全ての活動において動物との正しい	通	33				0	0		0	0	
からせていただき実践力を身につける。	0					通	33				0	0		0		
Table	0					通	16		0			0		0		
C   C   C   C   C   C   C   C   C   C	0				社会で通用するビジネスマナーを修得する。	前	16		0			0		0		
(1)   (1)	0				Excel表計算認定試験3級取得を目指す。	前	31				0	0		0		
<ul> <li>放一認定試験を目標に不足している知識の允定と反復練習を行う。</li> <li>適 107 0 0 0</li> <li>教急救命対応 トリアージ、生命徴候、救命法(CPR) 1 1 (後 16 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</li></ul>	0				病院内での接遇、マナーなど実践を通じ学ぶ。	前	16		0			0		0		
(2)       (3)       (4)       (5)       (7) <t< td=""><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>統一認定試験を目標に不足している知識の充足と反復練習を行う。</td><td>通</td><td>107</td><td>'</td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td><td></td></t<>	0				統一認定試験を目標に不足している知識の充足と反復練習を行う。	通	107	'	0			0		0		
〇       クライアントエデュケーション       疾病予防、避妊去勢、健康管理、衛生管理指導       1 1 34 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0				トリアージ、生命徴候、救命法(CPR)	後	16		0			0		0		
0       外科動物看護実習Ⅱ       手術関連業務、術前述語の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリング       2       46       ○ ○ ○         0       就職実務Ⅱ       短ペの考える力を養い、株先のを強い行うに入州の自成を目指すましてい。       16       ○ ○ ○         0       飼養管理学Ⅱ       実験動物、産業動物、野生動物、展示動物       2       31       ○ ○ ○         0       食品学       食材の分類と特徴を実習を通じ学ぶ。       2       77       ○ ○ ○         0       総合臨床実習       2       40       ○ ○ ○       ○ ○ ○	0				学校行事に係る準備や学校内、クラス内コミュニケーションカ向上をはかる。	通	20		0			0		0		
日本の対象を表の力を強い、抹洗いを運気性、排除に 当期、解除 エーラックの 前 前 40 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0				疾病予防、避妊去勢、健康管理、衛生管理指導	前	34		0			0		0		
○	0					前	46				0	0		0		
○ 食品学     食材の分類と特徴を実習を通じ学ぶ。     2 77 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0				ロー・ショルでは、ボルルで地へ行うに入れが自成を目指す共に、インダーンシップの経験から過去の問題事例の分析行い、現在の就職活動に活かしてい	前	16		0			0		0		
BMの方類と行類を美旨を通じ子か。     通 // O O O O O O O O O O O O O O O O O O	0				実験動物、産業動物、野生動物、展示動物	後	31		0			0		0		
	0				食材の分類と特徴を実習を通じ学ぶ。	通	77	L	0			0	_]		0	
	0			総合臨床実習	外部の実習施設でのインターンシップを行う。		49				0		0		0	

125「動物飼育実習 I」より名称分離新設 125「動物飼育実習 I」より名称変更

				平成26年度 (文化・教養専門課程ペット栄養・総合看護師学科)				_						
必	類選択	自	授業科目名	授業科目概要	配当年次	業	单 位	授調講		実験・	Ĩ		教員 事 身	企業等と
1 1	必	選択	<b>2</b>		学期	時		義		実習・実	内	外 日	£ <b>f</b>	垂携
0			動物繁殖学	生命を科学的に追求し、生命の不思議に触れることを目的とする。	2 後	21		0		0	Э	C	)	
0			動物医療関連法規	動物看護師のあり方、業務、動物愛護の精神、倫理観を中心に習得させる。又、 特にペットとの関係に注目し、様々な事例とともに法律を学ぶ。	2 後	9		0		(	Э	C	)	
0			動物栄養学	あらゆる動物が生きていくために、必要な食物と栄養について理解を深める。	2 通	47		0		(	Э	C	)	
0			動物看護学	チーム医療に基づいた専門職としての看護倫理、業務指針から、動物及び 飼主に寄り添った動物看護実践能力と問題解決能力を身につける。	2 通	16		0		(	Э	C	)	
0			動物看護実習Ⅱ	動物看護実習Ⅱでは、1年次の復習に加え、病院での補助的看護作業を想 定し、より実践的に実習して即戦力の人材育成を目標とする。	2 通	131				0 (	Э	C	)	
0			動物形態機能学	細胞の構造(染色体)、細胞組織、遺伝様式、体液と尿、生体恒常性	2 通	62		0		(	Э	C	)	
0			動物飼育実習Ⅱ	動物飼育に関する技術の実践と応用	2 通	102				0	Э	C	)	
0			動物疾病看護学	バイタルサイン、病的変化	2 通	122		0		(	Э	C	)	
0			動物入院管理	ケア、看護計画、看護記録、治療、処置別による看護	2 前	31		0		(	Э	C	)	
0			動物薬理学	作用機序、薬物耐性、薬物アレルギー、有害作用、中毒、プラセボ効果	2	32		0		(	Э		C	Э
0			動物臨床検査実習Ⅱ	検査技術の実践と応用	2 通	145				0	Э	C	)	
0			ドッグケア実習 Ⅱ	トレーニング実習の振り返りとハンドリング技術の習得。道具に関してトレーニング補助具である「ジェントルリーダー」や「イージーウォーク」ハーネス」などの使用ができるようになる。	2	62				0	Э	C	) (	2
0			幼齢動物・老齢動物管理	加齢よる身体的特徴、認知障害、褥瘡予防、徘徊改善、夜鳴き改善	2 後	31		0		(	2	C	)	
0			臨床動物看護学	経過・症状に応じた看護	2 通	92		0		(	Э	C	)	
0			栄養管理実践	健康状態の把握と栄養評価をするための観察力を養い、適正体重維持、一時的な下痢や嘔吐に対しての食事管理能力を習得する。更に、病態に即した身体検査、臨床検査を実施し、検査結果や総合的な判断に基づく食事の変更計画の立	3 通	170				0	Э	C	)	
0			カウンセリング話法	カウンセリングの技術を通して、人との接し方、話し方の技術を習得する。	3 後	17		0		0	Э	C	)	
0			検査実習Ⅲ	動物検査実習 I で得た知識をもとに実際の症例を用い、動物病院で必要なスキル・応用力を身に着ける	3通	64				0	Э	C	)	
0			検査実務	動物病院で必要なスキルを実習を通じ学ぶ。また後輩に指導ができるようになる。	3 前	46				0	Э	C	)	
0			校外実習	関連施設でのモルモットシャンプー大動物の診察補助、ウサギの採血、血液検査 などのサポートを行う。	3 前	12				0	Э		C	Э
0			コミュニケーション実践Ⅲ	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ等取り入れながら実践を学ぶ。	3 通	33		0		(	Э	C	)	
0			心理学	人が行動を起こすための仕組みを知る。	3 前	16		0		(	Э	C	)	
0			卒業研究	就学の集大成として自らテーマを決め卒業研究を行う。	3 後	34		0		(	Э	C	)	
0			動物の世話と管理Ⅲ	実際に動物を世話することで動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を養う。	3 通	172				0	Э	C	)	
0			動物病院実務	動物病院で必要な技術を磨き、実践力を身に着ける。	3 後	33		0		(	Э	C	)	
0			動物看護実習Ⅲ	動物看護実習Ⅱで得られた知識と技術をもとに、動物病院で必要なスキル・応用力を身に着ける。	3通	95				0	Э	C	)	
0		-	ドッグケア実習 Ⅱ	ドルー・ブラ音の振り返りとハントリング技術の首待。 垣具に関してトレー・ング補助具である「ジェントルリーダー」や「イージーウォークハーネス」などの使用	3 前	33				0	Э	C	)	
0			ドッグケア実習Ⅲ	<u>村ブキューテーテー かまい といって ハントリンツ 投 州の 百 時。 坦共に関し   してレーニング 補助具である 「ジェントルリーダー」   や                                  </u>	3 後	32				0	Э	C	)	
0			病院実務実習	実際の動物病院に近い状態で実践力を身に着ける	3 通	67				0	Э		(	Э
0			ペット栄養管理士試験対策	基礎栄養学をより深く掘り下げ、6大栄養素と消化生理について、生化学を学ぶ。疾病の病態生理や要求栄養素の違いを理解し、特別療法食による食事指導ができるペット栄養管理士を目指す。	3 通	111			0	(	Э		C	Э
0			就職実務Ⅲ	就職に向けて企業検索、業界研究を進め早期に内定できるスキルを身に付ける。	3 前	16		0		(	Э	C	)	
0			動物看護特論	統一認定試験を目標に不足している知識の充足と反復練習を行う。	3通	96			0		Э	C	)	
Щ_			合計	71 科目	3, 71	6単位時	F間(		単位	E)				

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
1. 本校所定の教育課程を履修し、その科目を修得していること	1 学年の学期区分	2期
2. 卒業までの出席率が90%以上の出席率であること		
3.少なくとも2個以上の資格取得がされていること		
4. 科目試験C評価以上であること		
	1 学期の授業期間	16週

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

<sup>2</sup> 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目についてOを付すこと。

	\ v-		3	平成26年(文化・教養専門課程 ペット美容・グルーマー学	科)	, ,		1777	<b>ДЕ_</b> Т	·+ '	IP.	=r '	+//	_	口
3	<b></b> 大類				配	授	ŀ	授	業方	法実	場	PJT	教.	貝	企
必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	当年次	業	単位	講	演	験・実	校	校	専	兼	業等と
修	必修	選択			· 学 期	時 数	数	義	習	習・実技	内	外	任		の連携
0			AAA実習	動物介在活動と動物介在療法の基礎知識と実践の基礎を学ぶ。	1 前	36					0	0		0	
0			AAA総論	動物介在活動現場で必要なハンドリング技術を学ぶ。動物介 在活動について知る。	1 前	16				0	0			0	
0			エキゾチックアニマル I	エキゾチック動物について理解し、動物関連業界でエキゾ チック動物に対応する時に必要な知識を身につける。	1 前	32		0			0			0	
0			グルーミング実習 I 	2人1組で1頭をシャンプーセットができるようになる。	1 前	96				0	0		0	0	0
0			グルーミング実習Ⅱ	1人でシャンプーができるようになる。	1 後	90				0	0		0	0	0
0			グルーミング理論	・グルーミングの流れを知る ・犬種のスタンダードカットを理解する	1 前	18		0			0		0		
0			コミュニケーション実践Ⅰ	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ等 取り入れながら実践を学ぶ。	1 通	32		0			0		0		
0				Word文書処理技能認定試験3級取得を目指す。	1 <u>後</u>	32				0	0		0		
0			しつけトレーニング実習	ご褒美で誘導する誘導法を用いた犬のトレーニング技術の習得を目指す。	1 <u>通</u>	46				0	0			0	0
0			造形美術 I	ドッグマネキンを使ったトリミング実習。カットの仕上げに 必要な観察力を身に付けます。	1 <u>前</u>	32				0	0		0		Ш
0			看護実践 I	動物看護で必要な基礎的な技術の習得を目指します。	1 後	32				0	0		0		
0			動物の世話と管理Ⅰ	飼育室における動物管理をチームで行う。	1 通	66				0	0			0	
0			トリミング実習Ⅰ	アウトラインカットなどを実践します。	1 後	96				0	0		0	0	0
0			トリミング理論	スタンダードの理解と各犬体各種のカッティング、クリッピングの手順、形、ラインを学ぶ	1 通	21		0			0		0	0	
0			ビジネスマナー I	社会で通用するビジネスマナーを修得する。	1 通	32		0					0		
0			動物栄養学	6 第栄養素と動物の養分要求量、消化器の構造、食性を理解 し、ペットフードでの栄養管理ができる知識を習得する。	1 前	32		0			0		0	0	
0			解剖学	動物の基礎的解剖学の理解を目的とする。	1 前	32		0			0			0	
0			公衆衛生学	各種微生物の基礎知識の習得及び消毒、滅菌について理解 し、感染症についての知識を身に付ける。	1 前	32		0			0			0	
0			飼養管理士総論	社団法人愛玩動物協会主催の愛玩動物飼養管理士2級の合格 を目指す。	1 後	42		0			0		0		
0			就職実務I	コミュニケーション能力を演習を通じ学ぶとともに、外部施設にて実際の運営に関わらせていただき実践力を身につける。	1 通	32		0			0		0		0
0			人と動物の関係学	国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか。日本の現状 と照らし合わせながら今後の課題を探る。	1 通	44		0			0			0	
0			生理学	動物の体の構造や機能に関する知識の習得を目指す。	1 後	32		0			0			0	
0			動物関係法規	愛玩動物飼養管理士 2 級合格を目標とする。	1 後	20		0			0		0		
0			寄生虫学	動物や人に感染する恐れのある寄生虫について、感染経路と病害を中心にまとめていく。また、動物病院での勤務では、各種検査によって寄生虫卵の鑑別を行うこともあるため、簡単な虫卵鑑別ができるように知識をつける。	1 前	16		0			0		0		
0			行動の原理	エキゾチックアニマルの看護に関する知識の習得を目指す。 ウサギ、モルモット、ハムスターなど犬、猫以外のペットの 適切な管理と看護について学習する。	1 前	32		0			0		0		
0			プレゼンテーション	個人でテーマを設定しその内容についてパワーポイントでまとめ、発表する。	1 後	20				0	0		0	_	

			<u> </u>	平成26年(文化・教養専門課程 ペット美容・グルーマー学	科)										
- 1	分類	Į						授	業方		場	所	教	員	
必修	選択必修	選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実習		校 外			との
0			エキゾチックアニマルⅡ	様々な動物を理解し動物関連業界で的確に対応できるスキル を身につける。	2 後	32		0			0			0	
0			看護実践	動物病院で看護師として必要とされる知識、技術の習得を目指す。動物病院以外でも役立つ受付や電話の応対も学修する。	2 通	64		0			0			0	
0			グルーミング実習Ⅲ	カット犬のグルーミングができるようになる。	2 前	144				0	0		0	0	0
0			グルーミング実習Ⅳ	カットスのトリミンソが一人ででき、美しいはエかッを日相 します。またその犬に合ったカットを提案できるようにな	2 後	144				0	0		0	0	0
0			コミュニケーション実践Ⅱ	コミュニケーション能力を講義だけでなくワークショップ等 取り入れながら実践を学ぶ。	2 通	29		0			0		0		
0			コンピュータ実習Ⅱ	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身に付ける。	2 前	32				0	0		0	0	
0			動物行動学	動物(特に犬・猫)の歴史背景や、行動の特性を理解する。また専門的な学習理論を理解する。	2 後	12		0			0		0		
0			動物の世話と管理Ⅱ	飼育室の動物管理を適切な管理で行えるようになることを目 的とする。	2 通	64				0	0			0	
0			動物の病気	動物の病気を知ることにより、解剖学、症状、治療法、動物の状態、動物のケアを理解する。	2 前	32		0			0		0		
0			ドッグケア実習	トレーニング実習振り返りとハンドリング技術の習得。各種 道具についても使えるようになる。	2 通	64				0	0			0	
0			トリミング実習Ⅱ	カット犬のグルーミングができる。	2 前	144				0	0	0		0	0
0			トリミング実習Ⅲ	1人でトータルケアができるようになる。	2 後	144				0	0		0	0	0
0			繁殖学	主に犬猫の繁殖整理を理解し、性行動、妊娠、分娩及び避 妊、去勢の知識を身に付ける。	2 後	20		0			0			0	
0			ビジネスマナーⅡ	ビジネスマナー検定3級合格を目標とする。	2 前	16		0			0		0		
0			就職実務Ⅱ	個々の考える力を養い、探究心を強く持った人材の育成を目 指す共に、インターンシップの経験から過去の問題事例の分 析行い、現在の就職活動に活かしていく。	2 前	16		0			0		0		
0			プレゼンテーション	個人でテーマを設定し、その内容についてパワーポイントで まとめ、発表し人前で発表する力を身につける。	2 後	16				0	0		0		
0			造形美術 Ⅱ	ドッグマネキンを使ったトリミング実習。カットの仕上げに 必要な観察力を身に付けます。	2 前	8				0	0		0		
						<u> </u>									<u> </u>
			<b>∧</b> =1	10. 41.5				_	000	₩ /·r	n+ P	B /		334	/±\
			合計	43 科目	l			I,	992	単位	.呵[	∃] (		単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
1. 本校所定の教育課程を履修し、その科目を修得していること	1 学年の学期区分	2期
<ul><li>2. 卒業までの出席率が90%以上の出席率であること</li><li>3. 少なくとも2個以上の資格取得がされていること</li><li>4. 科目試験0評価以上であること</li></ul>	1 学期の授業期間	16週

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

<sup>2</sup> 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。